

令和 9 年度 公益財団法人 教科書研究センター
若手研究者に対する教科書研究助成事業
(1) プロジェクト研究 及び (2) 個人研究
募集要項

本助成事業は、若手研究者による初等中等教育の教科書及びこれに関連する教材についての研究に対する助成を行うことにより、教科書研究者を育成し、もって教科書研究の振興を図ることを目的としています。

若手研究者に対する教科書研究助成事業の趣旨

初等中等教育の教科書は、学校教育上きわめて大きな役割を担っていることから、国が検定を行うとともに学校における使用義務が課せられています。

このような教科書の質的向上・充実を図ることが教科書研究センター（以下「当センター」という）の重要な使命であり、教科書研究者の育成もその一つとなっています。

学習の個性化や指導の個別化、ICT の活用、児童生徒の多様化や学習意欲の低下など、日本の教育が直面する課題に、教科書がどのように応えていくかが求められています。

本助成事業の選考に当たっては、①今日的な教育課題に対応しているか、②教科書をより良くすること、初等中等教育の教科書・教材に示唆を与えることが期待できるか、③研究の目的・意義は明確か。研究の着眼点・方法等に独自性はあるか、④優れた研究成果が期待できるか、という点について評価します。

なお、研究にあたっては特定の教科書を不当に評価することのないよう注意してください。

令和 9 年度の研究助成は以下により募集します。

1. 助成対象

日本及び諸外国における初等中等教育の教科書及びこれに関連する教材についての研究を対象とします。

2. 応募資格

日本の大学等高等教育機関、公的研究機関及び教育センター等に所属する若手研究者。

（例えば准教授、講師、助教等。若手支援のため、教授やそれに相当する職は除く。）

※大学院生は、当センターの「大学院生に対する教科書研究助成事業」にご応募ください。

3. 助成の条件及び内容

(1) プロジェクト研究（特定のテーマに関するプロジェクト型研究）

- ① 令和 9 年度研究テーマ：「デジタル教科書及びデジタル教材の活用に関するもの」
- ② 内容：若手研究者が研究チームの代表者として行うもので、優れた研究成果が期待される研究
※研究分担者・研究協力者に小・中・高等学校教員、教科書発行者等が加わることも可能です。
- ③ 研究期間：2 年間（令和 9 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日）
- ④ 助成金額：50 万円以内（2 年間総額で、間接経費を含む）

(2) 個人研究

- ① 研究テーマ：教科書及びこれに関連する教材についての研究

- ② 内容：若手研究者が個人で行うもので、優れた研究成果が期待される研究
※研究協力者に小・中・高等学校教員、教科書発行者等が加わることも可能です。
- ③ 研究期間：1～2年間（令和9年4月1日～令和10年3月31日または令和11年3月31日）
- ④ 助成金額：25万円以内（間接経費を含む）

4. 助成件数

予算総額 250 万円の範囲内で、プロジェクト研究及び個人研究を合わせて合計 8 件から 10 件程度に助成します。

5. 応募方法

以下の URL より電子申請システム GrantWill にアクセスし、マイページを取得してご応募ください。

<https://textbook-rc.yoshida-p.net/>

※3（1）プロジェクト研究と（2）個人研究の重複申請は認められません。

※フォーマットは GrantWill 上でダウンロードできます。提出する申請書の PDF は 3 ページ以内に収まるよう作成してください。

GrantWil



6. 応募期間

令和 8（2026）年 10 月 20 日（火）～同年 12 月 6 日（日）

7. 審査及び交付

- （1）審査は、当センターの調査研究企画委員及び専門分野の研究者があたります。
- （2）当センターの書面審査及び総合審査を経て理事会で助成対象者を決定し、令和 9 年 3 月末迄に申請者に審査結果を通知します。あわせて当センターのホームページに審査結果を掲載する予定です。
- （3）交付決定した助成金を所属機関等の指定の口座に振り込みます。

8. 助成金の使途

- （1）使途は研究費(間接経費含む)とします。ただし、以下に記載する費用は対象外とします。
 - ① 助成者本人及び研究分担者の人件費
 - ② 汎用性のある機器（PC 及び周辺機器）の購入費
- （2）使途内容は研究経費記載のとおりにお願いします。

9. 助成対象者に求められること

- （1）覚書の取り交わし
- （2）スタートアップミーティング
助成対象者となった場合、令和 9 年 5 月頃に助成対象者の方々に研究概要をご発表いただくスタートアップミーティングを実施します（オンライン開催予定）。
- （3）研究終了時に提出するもの
 - ① 研究報告の提出
助成対象者は、電子申請システム GrantWill マイページの採否結果に掲載される執筆要項及び研究報告フォーマットに従い、5,500 字（3 ページ）程度の研究報告（題目・著者名・

所属機関名、それらの英文を含む)を word 及び PDF 形式で作成し、GrantWill よりご提出ください。

写真・図表等挿入においてやむを得ない場合は4ページを上限とします。

② 決算書

研究終了後に所属機関助成金担当者より、決算書を電子メールにてご提出ください。

10. 「研究報告集」について

- (1) 提出された研究報告を基に、当センターにて「研究報告集」を作成します。
- (2) 研究報告の著作権は、研究報告作成者に帰属します。研究報告を提出したときは、当センターが営利を目的とせず、かつ学術及び教育の目的の範囲内で、研究報告を報告集、広報誌、当センターのホームページ等に掲載して公表・利用することについて、あらかじめ許諾したものとします。なお、当センターが刊行する刊行物等の編集著作権は、当センターに帰属します。

11. 留意すること

- (1) 他の著作物の引用について

研究報告において他の著作物を引用した場合には、引用であることを明らかにし、脚注や注記等に出典を明記してください。写真・図表等の著作権及び個人情報保護に関しては研究報告作成者の責任で十分な配慮をしてください。問題が生じた場合は研究報告作成者がその責任を負うものとします。

- (2) 利益相反について

著者は、研究に関連して開示すべき利益相反(利害関係等)がある場合には、これを研究報告の末尾において報告してください。

- (3) 二重投稿、倫理違反等について

研究報告は二重投稿・倫理違反等にならないよう、国のガイドラインや所属する研究組織の方針等を十分にご確認の上、ご提出ください。

- (4) 助成金の返納について

研究の継続が困難となった場合、研究内容が申請書と著しく異なる場合、研究報告の質が著しく低い場合には、助成金の一部または全額の返還を求めることがあります。

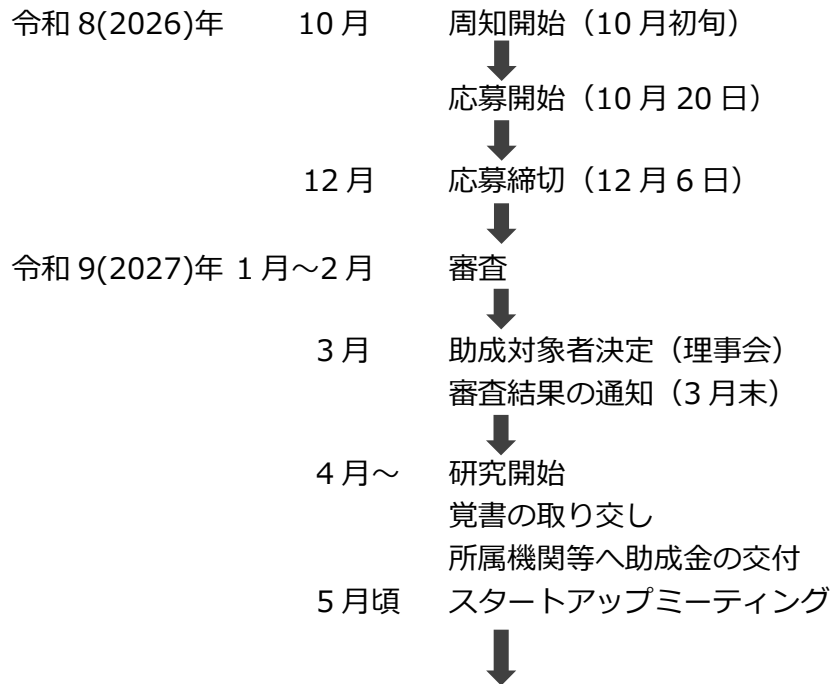
12. 『教科書研究ジャーナル』への論文の投稿について

研究報告を作成した者は、提出した内容を基に論文を作成し、当センターが刊行する『教科書研究ジャーナル』に投稿できます。審査を経て採択された論文は同誌に掲載されます。また、優秀な論文には「教科書研究ジャーナル優秀論文賞」を授与する予定です。詳細は後日当センターのホームページでお知らせします。

13. その他

- (1) 研究報告を提出した後に、研究報告作成者が研究報告を他団体の紀要、雑誌、ウェブ等に掲載し、公表・利用する場合には、「当該研究報告は公益財団法人教科書研究センターの助成を受けたものである」ことを明記してください。
- (2) 申請時にご記入いただいた個人情報は、本助成事業に係る業務のみに利用致します。その他の目的には利用されません。
- (3) その他不明なことは事務局までお問い合わせください。

令和9年度 若手研究者に対する教科書研究助成事業 スケジュール



(1 年間の個人研究の場合)

令和 10(2028)年	3 月末	研究報告提出 (3 月 31 日)
		決算書提出 (4 月 10 日)

(2 年間のプロジェクト研究・個人研究の場合)

令和 11(2029)年	3 月末	研究報告提出 (3 月 31 日)
		決算書提出 (4 月 10 日)

● 全員

(1 年間の研究の場合)

令和 10(2028)年 6 月頃 「研究報告集」を公表

(2 年間の研究の場合)

令和 11(2029)年 6 月頃 「研究報告集」を公表

● 希望者のみ (投稿論文)

(1 年間の研究の場合) 令和 10(2028)年

(2 年間の研究の場合) 令和 11(2029)年

4 月～10 月 学術誌『教科書研究ジャーナル』
への論文の投稿期間

↓
11 月～4 月 査読・修正期間

↓
『教科書研究ジャーナル』刊行予定



公益財団法人
教科書研究センター
Japan Textbook Research Center



【問合せ・各書類提出先】



〒135-0015 東京都江東区千石 1-9-28

電話 03-5606-4311 FAX03-5606-3044

URL: <https://textbook-rc.or.jp/wakate/>

MAIL: josei_wakate@textbook-rc.or.jp

(問合せへの対応は日本語のみ)